

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月14日

計画の名称	厚木市における安心・安全な下水道事業計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	厚木市												
計画の目標	近年、多発する大雨や都市化に伴う雨水流出量の増加により浸水被害が発生しており、防災、減災のため、雨水管渠及び雨水貯留施設により被害解消を図る。 また、大規模地震時において、下水道の有する機能を維持するため、施設の耐震化を図り、地震被害の防災・減災を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,100	A	3,089	B	0	C	11	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.35	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道による都市浸水対策達成率を68.2%（H28当初）から69.0%（H32末）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（面積A=3292ha）	68%	69%	69%
2	厚木排水区における浸水被害軽減対策達成率を0%（H28当初）から60%（H32末）に実施する。 厚木排水区における浸水被害軽減対策達成率 実施した施設数／実施すべき施設数（施設数N=2施設）	0%	45%	60%
3	下水道総合地震対策計画における、管路施設、ポンプ施設の耐震対策及び減災計画の災害用トイレの整備を実施する。 下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 耐震対策対応済みの箇所数／耐震対策対応すべき箇所数（N=161箇所）	0%	20%	80%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（雨水）	新設	相模川右岸第12排水区雨水管	雨水管整備 L=0.66km	厚木市	■					109		—	
		平成28、29年度は、既計画で実施。																		
	A07-002	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（雨水）	新設	相模川右岸第6-1排水区雨水管	雨水管整備 L=0.060km	厚木市	■					37		—	
		平成28、29年度は、既計画で実施。																		
	A07-003	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（雨水）	新設	相模川右岸第6排水区雨水管	雨水管整備 L=0.28km	厚木市		■	■			86		—	
		平成28、29年度は、既計画で実施。																		
	A07-005	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（雨水）	新設	恩曾川左岸第12-2排水区雨水管	雨水管整備 L=0.28km	厚木市		■				16		—	
平成28、29年度は、既計画で実施。																				
A07-006	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（合流）	新設	厚木排水区雨水貯留施設	雨水貯留施設27m×43m、雨水貯留管φ2400 L=1.12km	厚木市	■	■				2,440		策定済		
	平成28、29年度は、既計画で実施。																			
A07-007	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（汚水）	改築	下水道総合地震対策	可とう継手、人孔浮上防止、ポンプ場耐震化、マンホールトイレ整備	厚木市	■	■	■			211		策定済		
	平成28、29年度は、既計画で実施。																			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-008	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（ 雨水）	新設	恩曾川左岸第7排水区雨水 管	雨水管整備 L=0.24km	厚木市	■	■	■			151	—	
		平成29年度は、既計画で実施。																	
	A07-009	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（ 雨水）	新設	渋田川第7排水区雨水管	雨水管整備 L=0.21km	厚木市	■						39	—
		平成29年度は、既計画で実施。																	
												小計						3,089	
											合計						3,089		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	-	-	災害用トイレ	マンホールトイレ上部構造	厚木市	■	■	■			11	-		
		災害トイレの整備により、被災時に快適なトイレ環境を創出することができる																		
																			小計	11
																		合計	11	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
厚木市下水道運営審議会において実施。	事業終了後
	公表の方法
	厚木市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>①下水道による都市浸水対策達成率 雨水管渠整備による浸水対策を実施し、都市浸水対策達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。 ②厚木排水区における浸水被害軽減達成率 雨水貯留施設及び雨水貯留整備による浸水被害軽減対策を実施し、厚木排水区における浸水被害軽減達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。 ③耐震対策済みの箇所数/耐震対策対応すべき箇所数 下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の耐震化を図った。また、広域避難場所及び指定避難所に計34基の防災用トイレを整備した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

近年の局所的集中豪雨等により、整備済み区域において、浸水被害が発生しているため、対策施設の検討及び整備を進めていく。浸水被害が発生している雨水管渠未整備区域においても、次期社会資本総合整備計画に位置付け、継続的に整備を進めていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	69%
	最終実績値	69%
2	厚木排水区における浸水被害軽減対策達成率	
	最終目標値	60%
	最終実績値	62%
3	下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率	
	最終目標値	80%
	最終実績値	73%

社会資本整備総合交付金を前倒して執行することができたため。

可とう性継手の設置にかかる1箇所当たりの工事費が想定よりも高額となり、事業期間を延長したため目標に達しなかった。

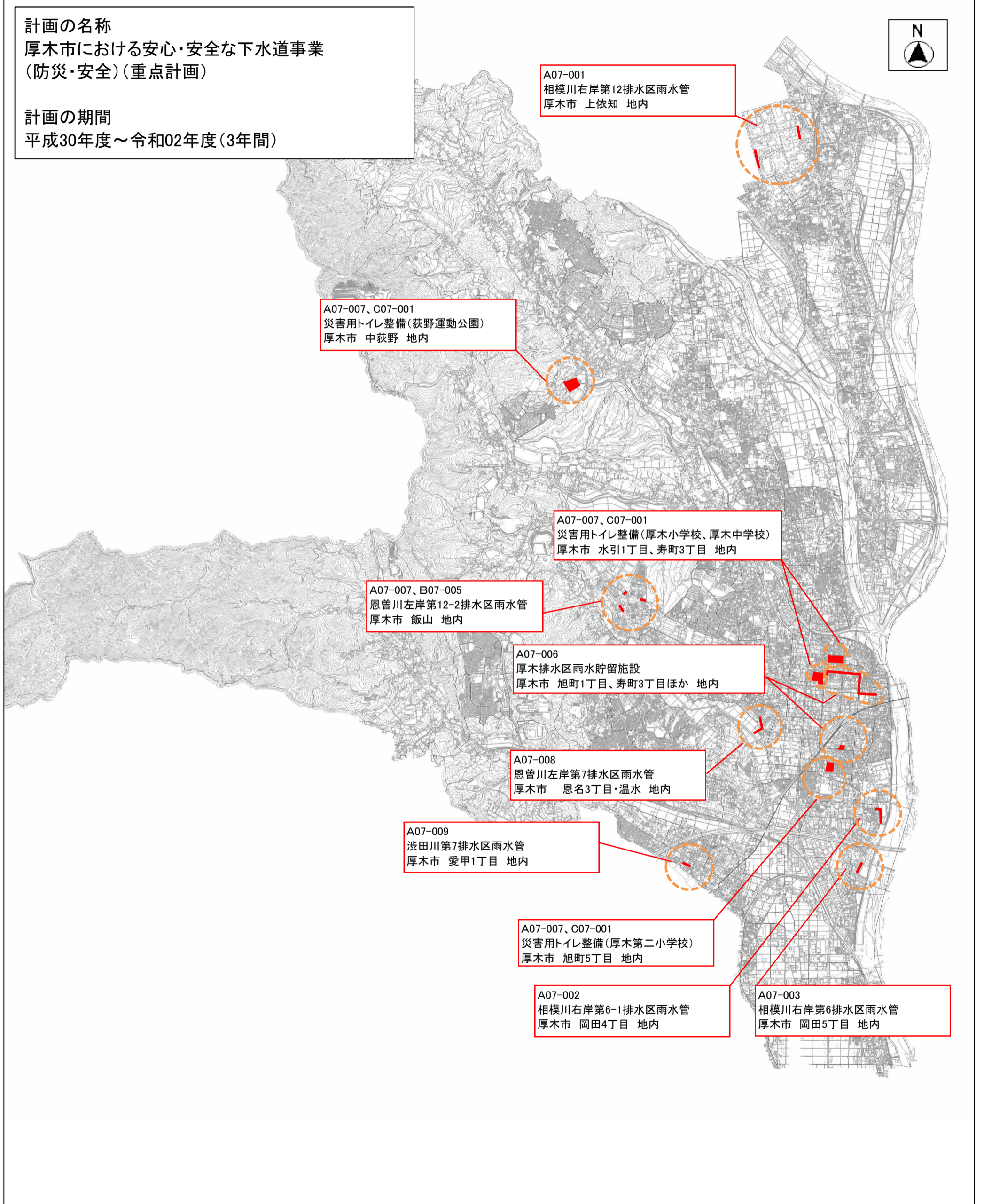
社会資本総合整備計画(平成30年度～令和2年度) 整備位置図

計画の名称

厚木市における安心・安全な下水道事業
(防災・安全)(重点計画)

計画の期間

平成30年度～令和02年度(3年間)



縮尺 1 : 50000

